

Amazing Way of Information Processing and Designing (Presentation Method)

*MIE TAKAHASHI¹

1. illustration mapper/guide(graphic designer)

Amazing Way of Information Processing and Designing (Presentation Method)

Keywords: information processing, expression, Cultural anthropology, illustrated map, 3D ART MAP,
Cambria great explosion

目からウロコの情報処理と表現 (デザインと変換)

by 高橋美江 (絵地図師・散歩屋/グラフィックデザイナー・イラストレーター)

♥参加者には「ミウラ折り地図」などプレゼント!

近年は“絵地図師・散歩屋”として活動する私は実はグラフィック・デザイナーでもある。そのデザインの発想と私のテーマでもある『情報と表現』の切り口から、まち歩きや絵地図を分析、検証した一端を事例として紹介する。

起

文化人類学的な広範囲の情報

絵地図仕事やまち歩きをしていると、町や街には様々な素材が散りばめられていると気づく
→歴史、自然(植物、小動物)、建築、地質、食、文化、科学、芸能、暮らし…etc.

ゆえに絵地図を描いたりガイドするには街の**各ジャンルの情報入手が必要**で、そのうえに**発見力+洞察力も必要**。

前提条件として**柔軟な脳みそ+好奇心**は不可欠である!

また、他との差別化を目指すため、情報も表現も**オリジナリティ**も重要である。

興味の対象は広く、浅く、時に深く、情報のチョイスにはセンスも求められる。

※以下、写真(予定)

絵地図(九州、大阪、都内、東北)
絵地図部分(歴史、建築、自然…)



研究者・AKB48が描いた地図

承

あなたは見方を変えられるか?! = 柔軟な脳みそを有しているか?!

A/研究者とAKB48の日本地図…差異から差違へ

講演会でのワークショップを事例に日本地図の見え方をさぐる。研究者が描いた都道府県も入った日本地図とAKB48の女子が描いた日本地図を見せ、その反応をうかがった。社会科的に完成度が低い地図に皆呆れるが、既成概念を排しデフォルメされたオモロ地図の発想の転換ができるか?

B/IKONOS画像の憂鬱

IKONOSの衛星画像を扱う会社を訪問したことがあり、その画像の美しさに圧巻…だが、現場の技術者にとっては研究材料としか写ってないらしく、それが私にはショック。(宝の持ちぐされ、可能性の否定?)

ガガーリンさんだって地球の美しさに感動したのだ!

C/「ケ」の中の変換の事例

IKONOSの衛星画像

日常の中のアート(小布施白菜、
園芸と格闘技、ガードレール)

転

垣根を飛び越えた「3Dアート地図」…

仕事として描いている絵地図は、方位、縮尺、スケールも入って多少のデフォルメは施しつつも正確な絵地図。以前にテレビに出ていた時にはテレビの効果を狙い**変換**→平面ではなく立体で動きのある地図の小作品を制作。

ここでの地図は正確さよりイメージ優先。地理的な根拠や意味合いも加味したアート作品がテレビのお陰でできあがった。

柔軟な脳みそと「素材」でも変わるアート作品なのだ。

『地図を書く、ではなく地図は作るもの』

千住ねぎ地図

本郷台地地図

結

「地球科学とアートの協働・共創」とは?

協働・共創というと私には一緒に作るようなイメージがあり、それはそれで良いと思う。

さらに、業種が異なる人々の異なる発想を認識していけば、

各人の研究や成果作りの**可能性**を拡大させるエッセンスにもなりうる。

広い視野に立った懐の深い研究を望む。



【エピローグ】

まち歩きから見えてきた

“カンブリア大爆発”

